

「富山県における人生100年時代ひとづくり構想会議」提言と、対応するキャリア教育等に係る事業

赤字:新規事業 青字:拡充事業 または今後検討を行う内容等

「富山県における人生100年時代ひとづくり構想会議」提言(抜粋)			対応するキャリア教育等に係る事業	
観 点	取組みの基本的方向	主な施策	令和元年度	令和2年度以降(予定)
1. 自分自身で自分の人生を主体的に切り拓いていく意思を持ち、自分の未来をつくりだす能力を育成すること	(1) 社会的・職業的自立に向けた能力や態度の育成(キャリア教育の充実) ① 職業観・勤労観の育成と社会・職業に対する理解の促進	・ 小学校における社会性・自主性・自立性等を養うための特別活動等の充実 ・ 望ましい職業観や勤労観、社会性等を育成するための「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」の実施 ・ 高等学校におけるインターンシップなどの体験活動の充実 ・ 県立学校における外部人材を活用した就職支援や講座の充実	○ 社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業【小中】 ・ 中学校2年生が連続5日間の職場体験活動等に取り組む [新] 社会へ羽ばたく「17歳の挑戦」事業【県立】 ・ 新たに実施するアカデミック・インターンシップを含め、企業などで就業体験 各学校において、R-PDCAを意識して取り組む	→継続 [拡] 社会へ羽ばたく「17歳の挑戦」事業【県立】 ・ 県立高校すべての普通系学科・総合学科を対象 ・ (アカデミック・インターンシップ)富山大学、県立大学の他学部等への受入先を拡充、新たな大学への依頼 ・ (企業魅力体験バスツアー)業種や地域性を考慮し、中小企業を選定や複数のコース設定を検討、県内企業の周知を図るため、担当以外の多数の教員の参加を促進
	② 子どもの発達段階に応じた体系的・系統的なキャリア教育の推進	・ 小学校から高等学校までの系統的なキャリア教育を充実するための取組みの検討	[新] 小中学校キャリア教育充実事業【小中】 ・ キャリア・パスポートを作成し、自分の取組みを振り返り	→継続 ・ キャリア・パスポートの活用を高めるための周知
	③ 教員の意識や指導力の向上	・ キャリア教育に関する教員研修の充実	○ 「キャリア教育指導者養成研修」の開催【教企】 ・ 本県で実施される全国の教員を対象とした(独)教職員支援機構の研修との連携 ○ 中・高進路指導研修会の実施【県立】 ・ 進路指導の諸問題について協議し、進路指導の充実を図る	→継続 [拡] 企業訪問への多数の教員参加による進路指導能力の強化
	(2) 自分の人生を設計する力と学び続ける態度の育成(ライフプラン教育の充実) ① 自分の人生を設計するための基本的な知識の習得 ② 目標を持ち、自分の人生を設計する力の育成 ③ 変化を前向きに受け止め、生涯学び続ける態度の育成	・ 児童生徒の発達段階に応じたライフプラン教育の更なる充実	○ とやまの中学生ライフプラン教育充実事業【小中】 ・ 副読本の活用、赤ちゃんふれあい体験・ライフデザインセミナーの実施 ○ とやまの高校生ライフプラン教育充実事業【県立】 ・ 副読本の活用、赤ちゃんふれあい体験・産婦人科医等の特別授業の実施 ○ 授業や特別活動等において実施	→継続 [拡] 小学生のライフプラン教育の実施について検討中
2. 子どもや若者がふるさとを拠りどころとして、地域や国際社会に貢献しようとする態度を育成すること	(1) ふるさとに誇りと愛着を持ち、社会に貢献する人材の育成(ふるさと教育の推進) ① 学校における「ふるさと教育」の推進		○ 副読本の活用【小中】 ・ 「ふるさととやまの人物ものがたり」、「ふるさととやまの自然・科学ものがたり」 ○ 副読本の活用【県立】 ・ 「高校生のためのふるさと富山」、「高校生のためのとやまの文学」、「高校生とやま英語表現ハンドブック」 ○ 「高志の国文学」情景作品コンクールの実施【生学】 ○ 「ふるさとの優れた先人に学ぶ」作文コンクールの実施【教企】	→継続 ・ とやまの文化財に関する教育の推進
	② 県民総参加で取り組む「ふるさと学習」の推進	・ 公民館を拠点とした、子どもたちのふるさとの学びや身近な自然体験活動の推進 ・ 県民生涯学習カレッジにおけるふるさと学習の振興 ・ 本県の文化遺産の魅力を国内外に向けて広く発信	[新] はつらつ公民館学び支援事業【生学】 ・ 公民館を拠点とした地域課題の解決に向けた「学び」のモデル的な活動を支援 ○ 県民生涯学習カレッジにおける「ふるさと探究講座」 ○ 文化財の魅力をホームページで発信	→継続 ・ 実施公民館の拡充の検討 →継続 ・ 指導者養成講座の開催を検討 →継続 ・ ホームページの多言語化を検討

「富山県における人生100年時代ひとづくり構想会議」提言と、対応するキャリア教育等に係る事業

赤字:新規事業 青字:拡充事業 または今後検討を行う内容等

「富山県における人生100年時代ひとづくり構想会議」提言（抜粋）			対応するキャリア教育等に係る事業	
観 点	取組みの基本的方向	主な施策	令和元年度	令和2年度以降（予定）
2. 子どもや若者がふるさとを拠りどころとして、地域や国際社会に貢献しようとする態度を育成すること（続き）	（2）ふるさとを拠りどころとして、グローバル社会で活躍する人材の育成（グローバル人材の育成） ① 英語による確かなコミュニケーション能力の育成	・ 英語4技能（「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」）の強化 ・ 小学校における英語教育の充実 ・ グローバルな時代に対応した児童生徒のコミュニケーション能力の向上	○ 英語専科教員の配置【教職】 ○ 英語学習パートナー派遣事業【小中】 ・ 英語の得意な大学生を小学校に派遣し、外国語活動の指導を補助	<拡充>令和2年度からの小学校5、6年生での英語の教科化に対応→英語専科教員の充実 <拡充>英語学習パートナーの充実
	② グローバルな視点で課題を解決できる資質・能力や態度の育成	・ 自国の文化や異文化に対する理解の促進 ・ 海外の学校との交流促進や海外研修及び海外留学への支援 ・ 中・高等学校の英語教員の指導力・英語力の向上 ・ ふるさとに誇りと愛着を持ちながら、国際的素養を身に付け、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成	○ ALTの配置【県立】 ○ 高等学校生徒海外派遣事業【県立】 ・ 海外派遣により、グローバル人材を育成 ○ とやまの高校生留学促進事業【県立】 ・ 県内高校生等の留学を支援 ○ とやまの高校グローバル人材育成促進事業【県立】 ・ 県内高等学校における英語指導の充実 ○ とやま型スーパーグローバルハイスクール事業【県立】 ・ 海外有名大学等での現地研修を支援	継続
3. 認知能力を伸ばしていくことに加え、非認知能力（意欲、協調性、課題解決能力等）やICTリテラシーなど、新たな時代に求められる能力を育成すること	（1）主体的・対話的で深い学びの推進による確かな学力の育成（学力向上のための取組み） ① 知識・技能、思考力・判断力・表現力等の育成	・ 「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業改善の推進 ・ 各学校の教育目標を実現するための教育課程の編成・実施とその適切な評価・改善（いわゆる「カリキュラム・マネジメント」の確立）	○ とやま型学力向上総合支援事業【小中】 ・ 児童生徒の確かな学力の育成	→継続 [新]若手教員の指導力向上 ・ 学びの質を高めるための教育実践 （ベテラン教員による指導、企業・地域関係者との交流による意識啓発）
	② 学びに向かう態度の育成		○ 授業や特別活動等において実施	→継続
	（2）様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決し、新たな価値を生み出す力の育成（探究力等の育成） ① 探究力、課題解決能力等の育成	・ 探究の過程を通じて「科学的な見方・考え方」を育成する取組みの充実 ・ 探究科学科等における専門性の高い探究的学習等の成果の普及	○ とやま科学オリンピックの開催【教企】 ○ 新たな学び創造事業【県立】 ・ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の推進 ○ スーパーサイエンスハイスクール事業【県立】 ・ 指定校：富山中部高校 ○ 高大連携未来を拓く人材育成事業【県立】 ・ 県内大学等と連携した専門性の高い特別授業や、探究科学科設置校による合同発表会等を開催 ○ とやまっ子理科大好き推進事業【小中】 ・ 小中学校における「観察実験アシスタント」の配置支援	→[拡] とやま科学オリンピックの開催【教企】 ・ 小学校部門への実技問題の導入、賞の新設を検討 ・ 「親子でチャレンジ体験教室」や「教育フォーラム」の充実 →主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業改善（新たな学び創造事業の見直し） 継続
	② 協調性、コミュニケーション能力の育成		○ 授業や特別活動等において実施	→継続
	③ 幼児教育の質の向上	・ 子どもの非認知能力を育成するための教員や保育士等の指導力向上と学校等、家庭、地域・社会が一体となった取組みの実施 ・ 幼児教育の質的向上のための拠点づくりの検討と関係機関・施設の連携による推進体制の充実	[新] 幼児教育充実・強化事業【小中】 ・ 「幼児教育センター」を設置し、幼稚園等にアドバイザーを派遣	→[拡] 幼児教育充実・強化事業【小中】 ・ 幼児教育推進体制連絡協議会等の開催 ・ 訪問研修する園・所の拡大 ・ 非認知能力育成に関するフォーラムの開催、保護者啓発リーフレットの作成・配布 など

「富山県における人生100年時代ひとづくり構想会議」提言と、対応するキャリア教育等に係る事業

赤字:新規事業 青字:拡充事業 または今後検討を行う内容等

「富山県における人生100年時代ひとづくり構想会議」提言(抜粋)			対応するキャリア教育等に係る事業	
観 点	取組みの基本的方向	主な施策	令和元年度	令和2年度以降(予定)
3. 認知能力を伸ばしていくことに加え、非認知能力(意欲、協調性、課題解決能力等)やICTリテラシーなど、新たな時代に求められる能力を育成すること(続き)	(3) 情報や情報技術を活用していく力の育成(ICT教育の充実) ① ICTリテラシー(情報活用能力)の育成	・ 児童生徒の発達段階に応じた情報活用能力の育成の充実 ・ 小学校における「プログラミング的思考」を育むためのプログラミング教育の円滑な導入 ・ ICTを活用した効果的な授業の実施や学習活動の充実	[新] 小中学校におけるICT教育総合支援事業【小中】 ・ 小中学校のICTを活用した授業改善を支援 <小中学校> 算数・数学科での学習を基に、問題を発見し、データを集めて分析し、意思決定 <高校>プログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ、統計等に関する資質・能力の向上を目指して研究を推進	→継続 ・ 未実施の市町を中心に、積極的に支援 ・ ICTの効果的な活用による指導能力の向上 ・ 令和2年度からの小学校における新学習指導要領の全面実施に伴うプログラミング教育の実践(指導事例を用いた研修の充実)
	② ICT教育の環境整備の推進 ○ 県立学校におけるタブレット端末や無線LAN環境等の整備の推進	・ ICTを活用した効果的な授業の実施や学習活動の充実 ・ 県立学校におけるICT環境の整備など、教育の情報化の推進	[拡] ICT教育推進事業(県立学校)【県立】 ・ ICT機器を活用した効果的な授業を推進、校内に無線LAN環境等を整備	→ [拡] ICT教育推進事業(県立学校)【県立】 ・ 全県立学校(56校)の無線LAN等の整備完了 ・ タブレット端末の配備(令和2年度まで1校につき高校42台、特別支援学校20台) ・ 次期整備方針やデジタル教材の導入に向けた検討
5. 家庭、学校、地域・社会、産業界、行政機関が連携してひとづくりに取り組むこと	(1) 家庭に望むこと ① 親としての役割と責任を自覚し、家庭の教育力を高めること	・ 子育てに関する学習機会や情報の提供など、家庭の教育力の向上に向けた「親学び」の充実 ・ 電話相談やカウンセリングなど、家庭教育に関する総合的な相談体制の充実 ・ 放課後子ども教室など、子どもの居場所づくりの充実	[拡] とやま親学び推進事業【生学】 ・ とやま親学び推進協議会の設置、「親学び講座」の実施 ・ 「親学び講座」の対象を0～2歳児の保護者にまで拡大 ○ 家庭教育かわら版事業【生学】 ・ 家庭教育に関する情報紙の発行 ○ 家庭教育総合相談事業【生学】 ・ HPIによる情報提供、電話相談やカウンセリング、電子メール等を活用した相談体制の整備 ○ 放課後子ども教室推進事業【生学】 ・ 学習や様々な体験・交流活動の機会を提供	→ [拡]とやま親学び推進事業【生学】 ・ 保護者の更なる参加を促すため、親学びを疑似体験できるウェブコンテンツ等の検討 } 継続
	② 保護者と学校等が一体となって子どもの成長と発達を支えること	・ 県民総ぐるみで子育てを支援する気運の醸成		
	(2) 地域・社会に望むこと ① 地域・社会が積極的に関わり、地域の子どもを育てること	・ 地域の人的資源を活用した放課後子ども教室や土曜学習などの実施 ・ 公民館等を拠点として、子どもたちが親や家族と一緒に地域の人々と交流しながら参加するふるさとの学びや身近な自然体験活動の推進	○ 放課後子ども教室推進事業【生学】(再掲) ・ 学習や様々な体験・交流活動の機会を提供 ○ 中学校放課後学習支援推進事業【生学】 ・ 大学生、教員OBなど地域住民の指導による学習支援 ○ 土曜日の豊かな教育活動推進事業【生学】【県立】 [新] はつらつ公民館学び支援事業【生学】(再掲) ・ 公民館を拠点とした地域課題の解決に向けた「学び」のモデル的な活動を支援	} 継続 →継続 ・ 実施公民館の増加を検討 →地域と連携した活動の充実により、地域を支える人材の育成を推進
	(3) 産業界への期待 ① 次世代を担う人材育成への支援	・ インターンシップの受入れ、課外授業講師の派遣や教員に対する研修等の提供	○ 社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業【小中】(再掲) ・ 中学校2年生が連続5日間の職場体験活動等に取り組む [新] 社会へ羽ばたく「17歳の挑戦」事業【県立】(再掲) ・ 新たに実施するアカデミック・インターンシップを含め、企業などで就業体験	→継続 → [拡] 社会へ羽ばたく「17歳の挑戦」事業【県立】(再掲) ・ 県立高校すべての普通系学科・総合学科を対象 ・ (企業魅力体験バスツアー)業種や地域性を考慮し、中小企業を選定や複数のコース設定を検討、県内企業の周知を図るため、担当以外の多数の教員の参加を促進
	(6) 連携強化のための取組み ① キャリア教育等の推進のための連携強化	・ キャリア教育等を推進するための県と関係機関(学校等、PTA、地域・社会、産業界・経済団体等)の連携の強化	[新] キャリア教育等連携推進会議の設置【教企】 ・ 関係機関の連携により、各事業の成果や課題を検証	→継続 ・ 引き続き会議を開催し、各事業の成果や課題を検証